



横河原商工連盟 代表理事
(株)くわばら 取締役
桑原 明裕 さん

横河原商工連盟
公式 Instagram



1_ 地元企業が焼き鳥を販売 /2_ 志津川中央会が射的屋を出店 /3_ 横河原いずみ会のポテトやフランクフルトが大人気 /4_ 樋好会(樋口)の中学生が笑顔で接客 /5_ 恒例の餅まきでフィナーレ



横河原に賑わいを

「夏休みが始まったな」。
横河原土曜夜市に行き、
そんな気持ちになった人
も多いだろう。横河原土
曜夜市は、毎年夏休み最
初の土曜日に開催される。
今年は7月18日(土)に開催
され、約8,000人が
訪れた。

商工連盟の代表理事を
13年前から務めるのは、学
生服店(株)くわばらの桑
原明裕さん。桑原さんは、
「商工連盟の青年部が夜市
を企画するようになった
とき、『若い人たちの手で
全く新しいものにしてい
よ』と言われました。でも
私は、昔ながらの日本の夏
祭りを感じられるこの夜市
が好きなので、懐かしい雰
囲気を残しつつ、ストリー
トダンスや坊っちゃん劇場
の役者さんによるステージ
など新要素を取り入れて
きました。ピング大会や餅
まきなど、私が小さい頃か
らある企画はなくしたくな
いと思っています」と思い

入れを語る。夜市当日は、
商店街と駅前広場が歩行
者天国となり、周辺のお店
を始め、市内外の人気店
地元企業や地域の団体な
どが出店。桑原さんは「7
月に入ってから本業の仕
事も顧みず、我ながら『何
でこんなことしてるんや
ろ』と思うくらい夜市の準
備に全力でした」と笑う。
「それでも当日、夜市を楽
しみにしていた人がこれだ
けたくさん来てくれて『あ
りがとう』なんて言われる
と、まあ来年も頑張ろうか
なと思っちゃいますね」と
話す笑顔には、生まれ育つ
た横河原と、そこに集まる
人への愛に溢れていた。



夏休みの思い出

今年の夏休みは、何をしましたか？どんな思い出ができましたか？
夏休み最初の土曜日には、横河原土曜夜市が開催されましたね。
本当にたくさんの人が集まり、活気に溢れたこの日を振り返ります。





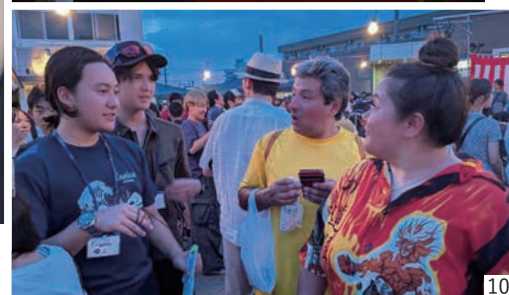
7



8



9



10



11



12

1_ ラムネの早飲み大会 /2_ 横河原ぶらっと HOME で射的 /3~6_ 夜市を支えた高校生ボランティアの皆さん /7_ 大人も子どもも笑顔がいっぱい /8_ スーパーたかすか前で射的 /9_ 駅前のたこ坊が屋台出店 /10_ 英語コンシェルジュ (左側2人) が外国人をガイド /11_ レトロな雰囲気漂う「かどみせ」 /12_ たくさんの人で賑わった商店街

に来てもらおうと、インフルエンサーを起用して外国人向けのPR動画を配信。当日には「英語コンシェルジュ」として2人の学生が外国人をガイドした。

桑原さんは、「夜市に来てもらうのも大事ですが、もっと大事なのはその後のことです」と話し、盛り上がり一日で終わらせまいと、商工連盟の仲間と懸命に取り組む。桑原さんが営む(株)くわばらは、学生服の販売のほか、架空の学校のオリジナル学制服をレンタルできるサービスも行っており、「外国人観光客に、横河原で日本の学生の放課後を体験してもらえたらと考えています。うちでオリジナルの学生服を借りて、駅前のリトルウイングさんで髪をセットして、おかだ写真館さんで写真を撮って、たこ坊さんのたこ焼きやかどみせさんのアイスクャンデーを食べて…なんてことができれば面白いんじゃないかな」と笑顔を見せる。

古き良きものを残しつつ、新しさを取り入れながら挑戦を続ける横河原。昔ながらの懐かしさを感じられるこの場所に、少しずつ新しい風が吹き始めている。



1



2



3



4



5



6

夜市を支えた高校生たち

夜市の運営には、商工連盟を中心に、地元企業なども協力。そしてこの日、多く目に留まったのが高校生の姿だ。県立東温高等学校からは、ボランティア募集のチラシなどを見て31人が参加。出店やゴミ捨て場などあらゆる場所から夜市を支えた。また、県立松山中央高等学校では、総合的な学習の時間で地域の課題を調べる中、横河原出身の生徒が「観月祭がなくなつて寂しい。地域のために自分にできることはないか」と考え、「ボランティアをしたい」と先生に相談し、校内でボランティアを募ることに。約40人が参加し、元気な声で集客をしたり子どもたちと接したりと、明るい笑顔で夜市を支えていた。

” YOKOGAWARA “

今年の夜市では、新たな試みとしてインバウンド誘致に挑戦。道後などを訪れた外国人観光客に、伊予鉄道横河原線の終点である横河原の夜市